

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はればれ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に悩みや心配事があった時に、職員が相談しやすい所	保護者の思いに寄り添い、しっかりと話を聞くことを第一に考えている	事業所として大切にしている方針を確認し、全職員が理解する
2	一人ひとりの子どもの特性を把握し、子どもの様子に合わせて職員の子どもへの接し方や対応を変え、子どもが安心できる場所として取り組んでいるところ	複数の目で子どもの様子を観察し、支援の方法を随時相談し個別の支援計画を作成し、その都度見直している。時には、一対一で対応し、質の高いサポートができるよう取り組んでいる	事例について検討会を行い、支援をより確かなものにする
3	在籍校園との連携を行っているところ	児発管が長く奈良市の特別支援教育に関わったため園の先生方とのパイプができています	先生方や保護者講演会の依頼があれば積極的に引き受ける

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を事業所が行っている保護者とは子どもの様子を伝えきれない	送迎を利用している保護者とは送迎時しか話をする機会がなくゆっくりと話をする時間を確保できない	日ごろの取り組みや保護者同士のつながりを作るために保護者会を開催する
2	十分に体を動かすスペースの確保が難しい	学年が上がるにつれ体が大きくなり、十分に体を動かすことができない	ゲームの内容を工夫し、狭い空間でも十分に体を動かせる内容にする。